

6 校種間・関係機関との連携、家庭や地域社会との連携を進めましょう！

- ☆1 保幼小の円滑な接続(実効性のあるスタートカリキュラム)
- ☆2 小中高12年間を見通した校種間連携による自立的な学びの確立、**社会に開かれた教育課程**
- ☆3 学校をプラットフォームとした連携推進体制の構築(生活習慣・学習習慣の形成、学習機会の提供)

スタートカリキュラム

学びの芽生え(幼児期)と自覚的な学び(児童期)をつなぐのが「**スタートカリキュラム**」です。

- ◆ 一人一人の子どもの成長の姿から編成しよう。
- ◆ 子どもの発達を踏まえ、時間割や学習活動を工夫しよう。
- ◆ **生活科**を中心に合科的・関連的な指導の充実を図ろう。
- ◆ 安心して自ら学びを広げる学習環境を整えよう。

スタートカリキュラムスタートブック(国立教育政策研究所)

学校をプラットフォームとした総合的支援

- ◆ 子どもの学習・生活を支援するネットワークを構築
- ◆ まなび・生活アドバイザー等の外部専門家の派遣による福祉関係機関との連携の推進
- ◆ ボランティア等による学習支援
「京都府子どもの貧困対策推進計画」より

子どもを包み込み、豊かにはぐくむ

3つのサポート

□ 子どもの安心・安全な居場所づくり

- ◆ 「いじめ撲滅・非行防止アピール&アクション」の実行
(インターネットやSNSにおけるいじめ、**薬物乱用根絶**についての対応)
- ◆ 様々な団体と連携した声かけ・見守り運動の活性化
- ◆ 多様な体験活動の充実

中学生による問題行動の減少に向け展開する「いじめ・非行防止キャンペーン」→



□ 社会全体での家庭教育支援

- ◆ 人や社会と積極的にかかわる「つながりサポーター」の拡充
- ◆ 食生活や食習慣の大切さが学べる場の提供
- ◆ 家庭や地域の絆、子どもをはぐくむことの大切さ等の積極的な啓発

事業所と連携した家庭教育支援事業「はぐナビ」を推進！

中丹教育局では、子育て支援に積極的に取り組んでいる事業所とつながり、「次代の中丹を担う人づくり」に取り組んでいます。

家庭教育の課題・取組や子どもをはぐくむことの大切さ等を紹介する情報紙「はぐナビ広場」を作成・配布したり、中丹地域に視点を当てた子育てに役立つ情報を発信するホームページ「**親力アップ**」はぐナビランド」を開設したりするなど、中丹地域で働く方々の子育てへの関心、学校教育への理解等を深めています。



□ 「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」

- ◆ 子どもをはぐくむネットワークづくり(福祉関係機関・自治会・NPO等との連携)
- ◆ 地域全体で教育に取り組む体制づくり
- ◆ 地域連携による学習機会の提供

地域連携による学習機会の提供

「子どもの貧困対策」の取組として、経済的な理由や家庭の事情により家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分身に付いていない子どもへの学習支援の取組が、教員OBや地域住民等の協力を得て、各地域で実施されています。

学習機会の提供

地域未来塾
(文部科学省 所管)

子どもの学習支援事業
(厚生労働省 所管)

学力保障・進路保障